

プロテックの取り組み - 「正しい色」

ほとんどの条件で、カメラ任せに撮影しても失敗はしなくなりました。反面 100 点の仕上がりではなく、何を撮っても及第点にとどまっていると感じています。何処か「しっかりこない」「見た色とは違う」って事はないでしょうか。

一つの提案として、「実際の色と同じように撮影出来たら美しい」が、成立するのではないかと考え、画像加工では不可能なレベルで忠実性を高める取り組みをしています。作例では背景のタイルの色はやや緑がかっており、チョコレートの包みとは異なる色合いで、「忠実な色再現」ではほぼ現物通りといえます。カメラの持つ色彩 (Canon EOS R5 スタンダード) では、ともに青であり色彩の持つニュアンスが省略されているように感じます。

「正しい色 (忠実な色)」再現は商品写真で非常に有効です。ほとんどの色彩は誤解なく再現するカメラでも、特定の色彩では大きな嘘をついてしまうことがあります。カタログや通販サイトでは商品の色が販売を左右しかねません。正しい色彩再現は必須と考えます。風景やポートレート等

の「記憶色」「期待色」を良しとする写真も好きですが、正しく色再現するスキルも専門職にとって重要と考えています。(弊社ブログから pdf データがダウンロード出来ます)



カメラの持つ色彩 (デフォルト)



忠実な色再現の色彩 (オリジナル)

Koyama

最近のレンズは高性能に進化したのは良いのですが、非常に高価でおいそれとは買えなくなってしまいました。中国の深圳では、新たなレンズメーカーが意欲的な商品を、驚くほど安価に数多く発表しています。そうした機材とはあまり縁がなかったのですが、我慢できず手を出してしまいました。まるで青春時代のレンズのように、オートと呼ばれる機能はありません。その結果な



のか、写真を撮る行為や時間がとても充実しているように感じるのです。不備な物に「味」という形容詞を用いることは嫌いですが、もう一度写真と向き合う道具として、楽しんでいます。

Morita



土居綾子様のプロフィール撮影をさせていただきました。

土居様はビオラの奏者で、岡山フィルハーモニック管弦楽団にも参加されています。5年ぶりにお会いしましたが、以前に増してチャーミングな上に大人の落ち着きをもたれていました。

1時間ほどかけてゆっくりお話ししながら、衣装も変えて撮影させていただきました。

その中の一枚をご本人の快諾をいただき、掲載しています。

ありがとうございました。また、近いうちに今度はお仲間と一緒においでくださるそうで、楽しみです。

Kusuda

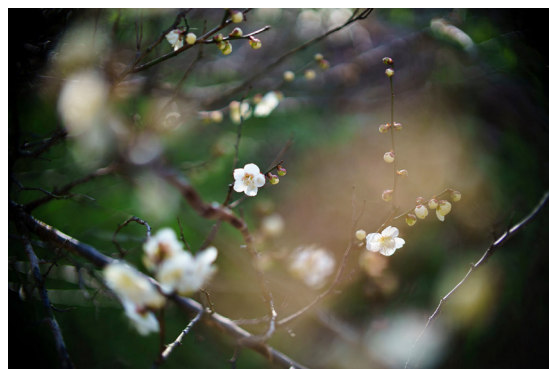
早春に寄せて
だんだんと、暖かい日も増えてきて、風景の中に春を感じられるようになってきました。世の中が大変でも芽吹く春はやって来て少しの希望を、良い事が起こりそうな予感を与えてくれる。自然から学ぶことは本当に



多いと思う、造形だったり色だったり。ありとあらゆる感情も、アンテナ張って取り入れて、自分の写真に生かしていけたら・・・! 素敵一枚のために。

Mizuko

草木が芽吹き梅などの花々がそこかしこで咲き始め、世界に彩りが増えてくる季節になりました。小春日和で撮影にも出やすい環境ですが、一方で花粉症や黄砂などアレルギーを持っている人にとって、つらい時期が近づいてきたとも言えます。私も花粉で眼がかゆくなりやすく、黄



砂で鼻や喉を傷めやすい体質で、特に今年は紛らわしい症状を出すわけにはいきませんので、体調には十分気を付けて、慎重な行動を心がけようと思います。